

専門分野 小児看護学	科目名：小児看護学概論	講師： 専任教員	1 単位 15 時間 (1 年次後期)
学習目標	1. 小児期にある対象を理解する。 2. 小児看護の役割・機能を理解する。 3. 母子保健、小児保健のあり方について理解する。 4. 子どもの権利を保障することの必要性について理解する。		
回数	主題	主な学習内容	講義形態
1	1. 小児看護の 対象と役割	1) 小児看護の対象 2) 小児看護の役割 (1) 小児看護と家族 (2) 子どもと家族を看護する看護師の役割	講義
2		3)健康の保持・増進のための看護の場と活動 4) 小児の発達理論	講義 演習
3	2. 小児医療 小児看護の変遷	1) 小児医療・小児看護の変遷 2) 小児医療・看護の課題	講義 演習
4	3. 母子保健と 小児保健	1) 小児の保健統計 (在宅における小児看護含む) 2) 母子保健の動向	講義 演習
5	4. 子どもの 人権と看護	1) 医療現場で起こりやすい問題点 (1) 治療の選択と意思決定 (2) 倫理的問題 (3)教育	
6		2) 子どもをとりまく社会の変化 (1)児童福祉 (2)母子保健 (3)医療費の支援 (4) 予防接種 (5)学校保健 (6)食育・特別支援教育 (7)臓器移植	講義 演習
7		3) 子どもの権利に関わる法規 (1) 児童憲章・子どもの権利宣言・児童の権利に関する条約 (2) 小児看護の日常的な臨床現場での倫理的課題の指針 4) アドボカシー (自己決定・倫理原則)	講義 演習
8	終講試験	筆記試験	
履修上の留意点		1. 常に持参のテキストは「小児看護学概論 小児臨床看護総論」 他は必要時指示。調べ学習などを行い能動的に学習する 2. 配付資料はすべて持参 3. 学習形態はその都度指示	
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 専門分野 小児看護学〔1〕 小児看護学概論/小児臨床看護総論 医学書院 2) 国民衛生の動向 一般財団法人 厚生労働統計協会	
評価方法		筆記試験	

専門分野 小児看護学	科目名：子どもの成長・発達 に応じた看護	講師： 臨床看護師	1単位 30時間 (2年次前期)
学習目標	1. 子どもの成長・発達について理解する。 2. 子どもの成長・発達段階に応じた健康増進の看護について理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 子どもの成長・発達	1) 成長・発達の概念	講義
2		2) 形態的成長・発達 (身長・体重・頭部・胸部・歯・骨)	講義 演習
3		3) 機能的発達 (呼吸・循環・血液・体温)	講義
4		3) 機能的発達 (消化吸収・水分と電解質・ 神経系・免疫・感覚・運動神経)	講義 演習
5		4) 心理・社会的発達 (認知・情緒)	講義
6		4) 心理・社会的発達 (社会性・コミュニケーション能力・ 遊び)	講義 演習
7		5) 性の発達	講義・演習
8		6) 子どもの発達課題	講義・演習
9	2. 子どもの発達段階に 応じた健康増進のため の看護	1) 新生児・乳児の健康増進のための看護 起こりやすい事故とその予防	講義 演習
10		2) 幼児の健康増進のための看護 起こりやすい事故とその予防	講義 演習
11		3) 学童の健康増進のための看護 起こりやすい事故とその予防	講義 演習
12		4) 思春期の健康増進のための看護 起こりやすい事故とその予防	講義 演習
13	3. 子どもに起こりやす い事故とその予防	グループ 発表・まとめ	演習
14	終講試験	筆記試験、まとめ	
履修上の留意点	1. 常に持参のテキストは「小児看護学概論 小児臨床看護総論」他は必要時指示 2. 配付資料はすべて持参 3. 学習形態はその都度指示、 課題の取り組みなど、能動的に参加する		
1) テキスト 2) 参考書	1) 系統看護学講座 専門分野 小児看護学〔1〕 小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院 2) 看護実践のための根拠がわかる小児看護技術 メジカルフレンド社		
評価方法	1. 筆記試験 2. レポート		

専門分野 小児看護学	科目名：健康障害をもつ 子どもの看護	講師： 臨床看護師 臨床看護師 臨床看護師 臨床看護師	1 単位 30 時間 (2 年次前期)
学習目標	1. 健康障害が子どもや家族へ与える影響が理解でき、その援助方法について理解する。 2. 子どもに起こりやすい健康障害を理解し、子ども及び家族への看護の方法が理解する。 3. さまざまな状況にある健康障害を起こした子ども及び家族への援助について理解する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 健康障害 もつ子ども 家族の特徴	1) 病気や入院が子どもに与える影響と看護 病気・障害の受け止め、理解 病気・障害に伴うストレス ストレスに対する反応・対処	講義
2		1) 病気や入院が子どもに与える影響と看護 子どもの健康問題と看護 子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護 （入院・外来・在宅療養・災害）	講義
3		2) 病気や入院が家族に及ぼす影響と看護 健康問題の受け止め、養育上のストレス	
4	2. 経過・症 状に応じた小 児と家族の看 護	1) 急性期にある子どもと家族の看護 子どもによくみられる疾病と症状に対する看護 急性期の特徴 小児救急の現状	講義
5			講義
6		2) 慢性的な疾患・障害がある子どもと家族の看護 慢性期の特徴 慢性状態が子どもに与える影響と子どもと家族の看護	講義
7		3) 終末期にある子どもと家族の看護 子どもの終末期の特徴 子どもの死についてのとらえ方 子どもやその家族の心理（意思決定支援）在宅終末期ケア	講義
8	3. 特別な状 況にある子ど もと家族の看 護	1) 隔離を要する子どもと家族の看護 小児感染症とその看護（麻疹・風疹・呼吸器系・消化器系） 白血病とその看護	講義
9		2) 活動制限を受ける子どもと家族の看護 安全の確保 遊び 成長・発達 基本的な生活習慣の確立への看護	講義
10		3) 手術を受ける子どもと家族の看護 小児期の手術の特徴 子どもや家族の反応 プレパレーション小 児期の術後管理	講義
11		4) 健康障害を持つ新生児と家族の看護 （呼吸器、循環器、消化器、代謝性疾患など） （新生児の主な疾患、低出生体重児など）	

12		5) 重症心身障害児と家族の看護 ① 身体障害 発達障害 知的障害	講義
13		5) 重症心身障害児と家族の看護 ② 脳性麻痺 など (政策医療) ポスト NICU	講義
14		6) 虐待や被災した子どもの看護 児童虐待の現状 虐待を受けた子どもと家族の支援 法律 災害を受けた小児に起こりやすい症状・状況	講義
15	終講試験	筆記試験、まとめ	
履修上の留意点		1. 常に持参のテキストは「小児看護学概論・小児臨床看護総論」 「小児臨床看護各論」 2. 配付資料はすべて持参 子どもの成長・発達段階を踏まえて教授する。	
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学① 小児看護学概論・ 小児臨床看護総論 医学書院 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学② 小児臨床看護各論 医学書院 2) 看護実践のための根拠がわかる小児看護技術 メジカルフレンド社	
評価方法		1. 筆記試験	

専門分野 小児看護学	科目名：小児看護学演習	講師：専任教員	1単位 30時間 (2年次後期)
学習目標	1. 子どもの成長・発達についてアセスメントできる。 2. 病気や入院が子どもや家族に与える影響とその看護が理解する。 3. 子どもに対する基本的看護技術の習得ができる。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 発育・発達の評価	1) 健康障害をもつ小児の身体発育・機能的発達・心理社会的発達のアセスメント ①新生児・乳児	講義
2		1) 健康障害をもつ小児の身体発育・機能的発達・心理社会的発達のアセスメント ②幼児・学童	講義
3		1) 健康障害をもつ小児の身体発育・機能的発達・心理社会的発達のアセスメント ③思春期	講義
4	2. 病気や入院が子どもと家族に与える影響とその看護	事例による検討(①新生児・乳児 ②幼児・学童 ③思春期) 1) 病気や入院が子どもに与える影響のアセスメント	講義 演習
5		事例による検討(①新生児・乳児 ②幼児・学童 ③思春期) 2) 子どもにあった入院環境	講義 演習
6		事例による検討(①新生児・乳児 ②幼児・学童 ③思春期) 3) 入院適応に向けての看護	講義 演習
7	3. 小児看護に必要な技術	1) コミュニケーション技術 発達段階に応じたコミュニケーションの特徴 (幼児・学童・思春期)	演習
8		言語・非言語を含めたコミュニケーションの方法	演習
9		2) 発達に応じた説明と同意 検査を受ける小児へのプレパレーション	演習
10			演習
11		3) フィジカルアセスメント ①バイタルサイン測定 ②身体測定	演習
12		③輸液の管理と点滴時のシーネ固定	演習
13		4) 診療に伴う援助技術 ①与薬(内服、座薬、吸入) ②吸引、採血、点滴	演習
14		5) 遊びへの援助 発達段階や安静度に応じた遊び	演習

15	まとめ	発表・まとめ
履修上の留意点		<ol style="list-style-type: none"> 1. 常に持参のテキストは「小児看護学概論 小児臨床看護総論」「小児臨床看護各論」 他は必要時指示 2. 配付資料はすべて持参 3. 学習形態はその都度指示
<ol style="list-style-type: none"> 1) テキスト 2) 参考書 		<ol style="list-style-type: none"> 1) 系統看護学講座 専門分野 小児看護学〔1〕小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院 1) 系統看護学講座 専門分野 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論 医学書院 2) 看護実践のための根拠がわかる 小児看護技術
評価方法		<ol style="list-style-type: none"> 1. レポート